

英文学評論

第LXXV集

劇作家と演出家

——『タイタス・アンドロニカス』の1955年のPeter Brook演出

..... 依田義丸

『イリアス』第6巻におけるヘクトールと

アンドロマケの別れの場面について

——ドライデンとポープの英訳を中心に 高谷修

1768年——ロイヤル・アカデミーの創設と

サー・ジョシュア・レノルズ 鈴木雅之

「ロージャー・マルヴィンの埋葬」

——一つの家族物語 福岡和子

京都大学総合人間学部英語部会

編集後記

☆ 『英文学評論』第75集をお届けします。先回につき力作、大作に恵まれ、ご寄稿いただきました先生方には厚く御礼を申し上げます。

☆ 英語部会関係の人事といたしましては、平成14年3月31日付けで外国人教師のエドワード・マークス博士が3年間の任期を終えられ、後任として、ジョン・ティモシー・デニー博士がアメリカから来日され4月1日付けで着任されました。また、平成14年9月30日付けで外国人教師デイヴィッド・チャンドラー博士が3年間の任期を終えられ、同志社大学へ移られました。後任としてケアリ・ディピエトロ博士がカナダから来日され10月1日付けで着任されました。

☆ 『英文学評論』は英語部会の前身英語教室が主に英米文学の研究者で構成されていた時代に創刊されました。しかし、ここ数年英語部会の構成員の専門分野も多様化し、『英文学評論』の位置付けや性格についての見直しが迫られています。今後は英米文学のみならず幅広い研究分野で投稿を募ることになりました。『英文学評論』というタイトルも変わらざるをえないのかもしれませんが。これまでのご協力で深く感謝申し上げます。また、後継誌を充実したものにするために、今後ともよろしくご支援を頂きますよう、お願い申し上げます。

(編集委員)

英文学評論 第75集

非 売 品

平成15年3月20日 印刷

平成15年3月25日 発行

編 集 者 京都大学 総合人間学部 英語部会
代表者 山田 孝子

印 刷 所 明 文 舎 印 刷 株 式 会 社
京都市南区吉祥院池ノ内町10

発 行 所 京 都 大 学 総 合 人 間 学 部 英 語 部 会
京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume LXXV March 2003

CONTENTS

The Dramatist vs The Director:

Peter Brook's Directing *Titus Andronicus* in 1955 Yoshimaru YODA

Parting of Hector and Andromache:

Ilias, Dryden and Pope Osamu TAKAYA

1768: The Foundation of Royal Academy of Arts

and Sir Joshua Reynolds Masashi SUZUKI

"Roger Malvin's Burial":

A family romance Kazuko FUKUOKA

ENGLISH DEPARTMENT
FACULTY OF INTEGRATED HUMAN STUDIES
KYOTO UNIVERSITY